

—“ゼミ形式”で行う、卒業生による実践的な就職支援プログラム—
11/11(土)「武蔵しごと塾 ～課題発見とネクストアクション～」を開催

武蔵大学（東京都練馬区／学長 山崎哲哉）は、本学の3年生を対象とした実践的な就職支援プログラム「武蔵しごと塾」を11月11日（土）に開催します。約35名の卒業生が面接官役となっており、11名のキャリア支援相談員、在学生の就活サポーター30名程度とともに模擬面接などを行い、学生を個々の課題発見へと導きます。このプログラムでは120名程度の学生の参加を想定しています。

「武蔵しごと塾 ～課題発見とネクストアクション～」 Phase1：11月講座

日 時：2017年11月11日（土） 13:00～19:30

場 所：武蔵大学 1号館 1001教室 他

内容

13:00～ 趣旨説明（1001教室）

13:40～ 模擬面接、フィードバック、振り返り（各教室）

- ・学生4～5名に対し卒業生1～2名と少人数で行う
- ・社会人から見た自分の評価を受け止める
- ・今後取るべき行動を考え、発表する
- ・卒業生ご自身のキャリアに関する講話を伺う

17:30～ 卒業生との交流会（学生ホール）

- ・自分の志望業界の知識を深め、幅広い業界研究につなげる



「武蔵しごと塾」とは？

社会で活躍する卒業生による就職支援プログラム。卒業生から、さまざまな業種の仕事内容やこれまでの経験、就職活動をする上でのポイントなどを聞くことで、学生の就業観を高め、就職活動に向けた実践的な力を身につけることを目的とします。学生・卒業生のべ約400名が参加するイベントになっています。

Phase1：11月講座「課題発見とネクストアクション」

卒業生も含めたゼミ形式でのディスカッションや、模擬面接などの就職活動体験を通して、自分に足りないものを知り、克服するための方法を考えます。

Phase2：2月講座「内定力強化講座（面接体験講座）」

卒業生による本番さながらの面接指導や、エントリーシートの書き方指導を実施。徹底した個人指導で、学生の問題点を見出し、その場で改善につなげることで、就職活動における自己表現力を伸ばします。

参加予定卒業生の企業業種

銀行、通信、機械、自動車、運輸、食品、医療、不動産、商社、旅行、人材、印刷、広告、コンサル など

【News Release】
報道関係者各位

2017年10月吉日

■武蔵大学〔アクセス：西武池袋線「江古田駅」から徒歩6分〕 ～都心に近く 緑豊かなワンキャンパス～

武蔵大学の前身は、東武鉄道や東京地下鉄道（現東京メトロ）など多くの鉄道事業に携わり「鉄道王」と呼ばれた根津嘉一郎（初代、1860～1940）が、1922（大正 11）年に私財を投じて創立した日本初の私立旧制七年制武蔵高等学校。戦後の学制改革により、1948（昭和 23）年4月に新制武蔵高等学校、翌年に新制武蔵大学、新制武蔵中学校が開設され、学校法人根津育英会武蔵学園として現在に至る。武蔵大学は、経済、人文、社会の3学部8学科からなる文系総合大学。一年次から4年間のゼミナルが必修で「ゼミの武蔵」といわれる。近年ではロンドン大学の学位が取得できるプログラムや国際村の設置などグローバル教育にも力を入れている。

学長 山崎哲哉 〒176-8534 東京都練馬区豊玉上 1-26-1